



本文書の位置づけ

◎ cfneo-Projectからのご提案

- cfneo-Projectの目的
= ソフトウェア・テストを何とかする
為の、cfneo-Projectからのご提案です
- この文書では、
cfneoの使い方について記述しています。
- この文書は、設計ガイドの内容を含みません。

用語

- ◎ 本体
 - cfneoとその配下のパッケージを指します。
- ◎ 接触篇
 - 「cfneodocs-001 ユーザーガイド(接触篇)」を指します。
- ◎ 設計ガイド
 - 「cfneodocs-003 設計ガイド」を指します。

© cfneo-Project 2008. all rights reserved.

3

cfneo概要

- ◎ cfneoは、ColdFusionで開発されたWebフレームワークです。
- ◎ cfneo-Projectのゴール
 - 「テストを何とかすること」

cfneo成果物構成

- ◎ 本体
 - cfneoとその配下のパッケージです。
- ◎ ユーザーガイド
 - 接触篇と発動篇があります。
- ◎ 設計ガイド
 - cfneoを使ったアプリケーション設計についてのガイドラインを記してあります。

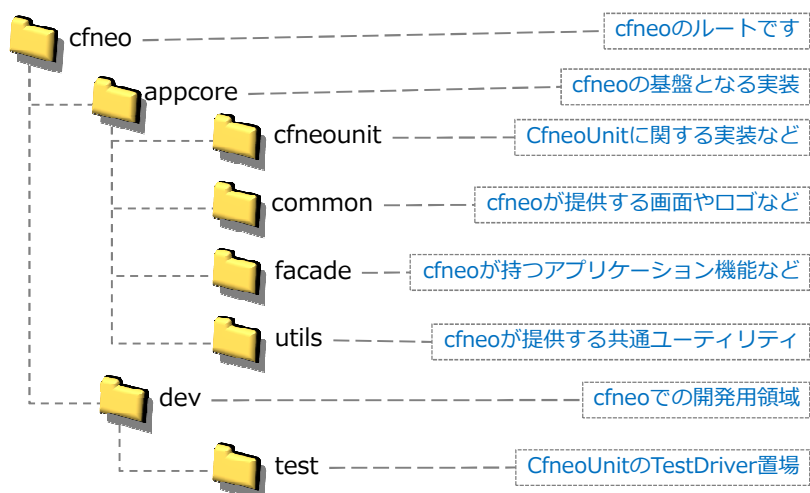
cfneo Project

目次的なもの

- ◎ cfneoフレームワーク構成図
- ◎ Application Creator
- ◎ 簡易DI(ComponentManager)
- ◎ CfneoUnit

cfneo Project

cfneoフレームワーク構成



Application Creator

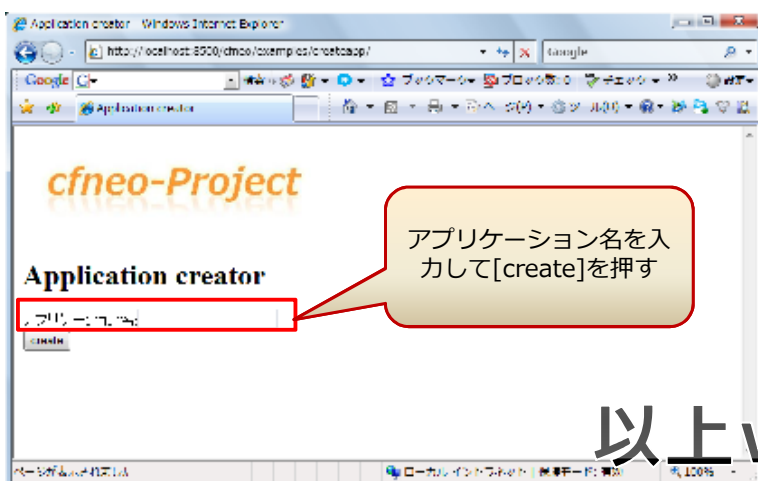
◎ Application Creatorとは…

- アプリケーション名
(APPLICATION.ApplicationName)が異なる
cfneoクローンを生成する機能です。

■ cfneoクローンを生成する意味 ■

cfneoクローンを作る仕組みを作ったのは、ColdFusionの特性上、1つの開発マシンで開発を複数持てないためです。
また、単純にコピーをただけだと継承元やアプリケーション名など、リテラルで定義しなくてはならない部分も、それぞれ直していきませんといけません。
これを一括して行うのが、Application Creatorです。

Application Creatorの使い方



以上w

Application Creator

- 指定されたアプリケーション名をルートに、以下のファイルをコピーします。

/appcore配下のすべて
/Application.cfc
/ApplicationProxy.cfc
/LICENSE.txt
/dev/test/Application.cfc
/dev/test/doCreateTestDriver.cfm
/dev/test/index.cfm
/dev/test/style.css

簡易DI

- ◎ 簡易DIとは、cfneoの管理下にあるCFコンポーネントの生成を行う為のコンポーネントComponentManagerを指します。
- ◎ コンポーネントComponentManager
 - ComponentManagerは、#GetComponentのメソッドを提供します。
 - 引数：コンポーネント名
 - ex)/cfneo/appcore/ApplicationProxy.cfc
→"appcore.ApplicationProxy"と指定
 - 戻り値：生成したComponentObject

簡易DI

- ◎ cfmからの利用方法

```
<cfset VARIABLES.obj=GetComponentManager().  
    GetComponent("ComponentName") />
```

ComponentManagerは、cfneoが提供するApplication.cfcのメソッド
#GetComponentManagerを用いて取得可能です。

簡易DI

◎ cfcからの利用方法

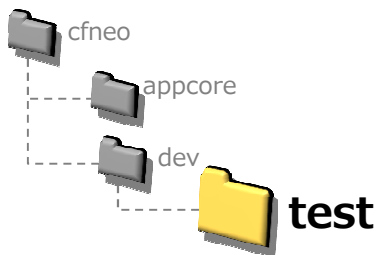
```
<cfset VARIABLES.obj=THIS.comMgr.  
    getComponentManager().  
    getComponent("ComponentName") />
```

ComponentManagerを使用して生成されたCFコンポーネントの場合、comMgrプロパティにComponentManagerをそのままセットしています。

cfneo-Project

CfneoUnit

- ◎ CfneoUnitはcfneo上でxUnitを行う為のプラットフォームです。
 - [/APPLICATION-ROOT/dev/test/](#)の配下で利用可能



cfneo-Project

CfneoUnitの使い方

◎ Test Driver List

- TestDriverの作成状況を一覧で表示します
 - アプリケーション・ルートからcfcファイルを探し出し、それぞれにTestDriver(Hoge.cfcならHogeTest.cfm)が作られているかどうか、を確認できます。
 - TestDriverが存在した場合、対象となるcfcファイルのメソッド(publicのもののみ)がTestDriverの中でテストが書かれているかどうか、を確認できます。

※) TestDriverの中にメソッドのテストが書かれているかどうかは、以下の書式に沿ってテストが記述されているか、を元に判定します。

<filedset>

<legend>メソッド名</legend>

</fieldset>

CfneoUnitの使い方

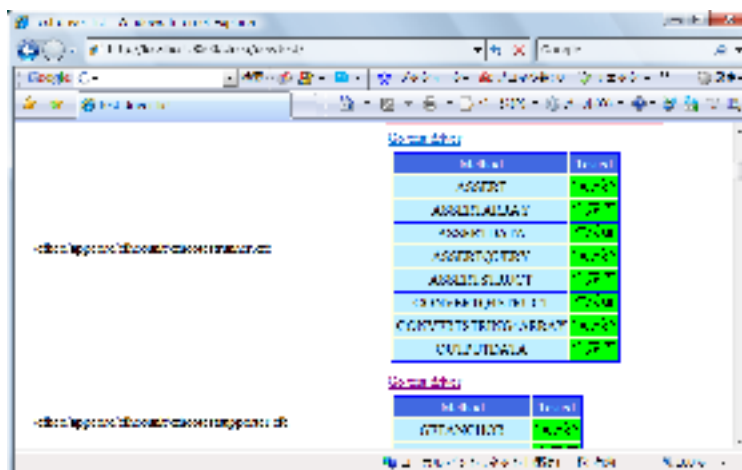
◎ Test Driver List

The screenshot shows the 'Test driver list' page of the Cfneo-Project. It features a table titled 'Target[37] / Test driver[30]' with the following data:

File name	Link
cfneo\appsrc\application.cfc	Create Test driver file.
cfneo\appsrc\applicationproxy.cfc	Create Test driver file.
cfneo\appsrc\dicomid\application.cfc	Create Test driver file.
cfneo\appsrc\dicomid\applicationproxy.cfc	Create Test driver file.
	Run test driver

CfneoUnitの使い方

◎ Test Driver List



CfneoUnitの使い方

◎ Test Driver List

- File name
 - テスト対象となるCFコンポーネント名です。
- Link
 - TestDriverが存在する場合、テスト対象のCFコンポーネントのメソッドが一覧で表示されます。
 - ・ メソッドに対応したテストが記述されていた場合「作成済」、まだテストが記述されていない場合は「未作成」と表示されます。
 - TestDriverが存在しない場合、「Create Test driver file.」と表示されます。

CfneoUnitの使い方

- ◎ 「Create Test drive file.」のリンクを押した場合
 - 空のTestDriverが生成されます。

■ TestDriverの命名規則の例 ■

テスト対象のCFコンポーネントが
[cfneo.appcore.ComponentManager]
(物理パス=ROOT/cfneo/appcore/ComponentManager.cfc)
の場合、そのTestDriverは、
[/cfneo/dev/test/appcore/ComponentManagerTest.cfm]
という名称で作成します。

cfneo-Project

CfneoUnitの使い方

- ◎ TestDriverの使い方
 - 生成直後のTestDriverはテンプレートのままです。
 - このテンプレートにテストを記述していきます。

```
<cfset in=12345 />  
<cfset exp=true />  
<cfset act=IsNumeric(in) />  
<cfset assert(1, "invoke", in, exp, act) />
```

cfneo-Project

CfneoUnitの使い方

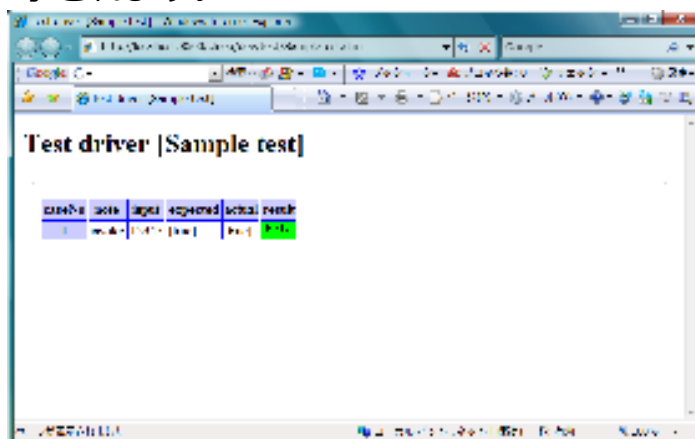
◎テストを実装する。

- TestDriver内では、VARIABLESスコープのプリフィクスは割愛しています。
- 1つのファイルに対して、1つのTestDriverを実装します。

cfneo-Project

CfneoUnitの使い方

◎ TestDriverにアクセスすると以下のように表示されます。



cfneo-Project